

vol. 48

The News Letter

2023 WINTER

一般社団法人 日本歯科審美学会

General Incorporated Association Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

「日本歯科審美学会の進むべき道」

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 小峰 太



このNewsletterが皆様に届いた時は、すでに鹿児島で開催の第34回日本歯科審美学会学術大会（西谷佳浩 大会長）は盛会で終了していることと思います。

さて、1988年4月17日、笹川記念会館にて日本歯科審美研究会の設立大会が開催され、現在の日本歯科審美学会への第一歩が踏み出されました。

それから今年で35年になります。これまでの偉大な先生方の多大な貢献により、学術団体として数多くの事業が行われ、現在では会員数が約6,000名の学術団体となりました。本学会は、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の三位一体となった活動が活発に行われています。

一方で、時代の流れもあり、今後はその時代に適した学術団体としての活動が求められます。今ではスマートフォンなどのデバイスで、いつでも、どこでも欲しい情報が入手可能です。歯科医院等の情報もホームページで手軽に検索できます。しかし、厚生労働省は病院、歯科医院等のホームページにおける誇大広告などの注意喚起を行っています。そのため、「医療広告ガイドライン」（厚生労働省ホームページからダウンロード可能）を遵守するなどの、会員におけるコンプライアンスについても、学会として検討する必要性が指摘されています。さらに、学術団体としての根幹となる編集業務、認定医および認定士制度、歯科審美に関する用語集の整備なども、今後再検討される必要があるかもしれません。

歯科審美を獲得することは、患者、国民のためであります。そのために、日本歯科審美学会として、適切な歯科審美を獲得するための臨床、その根拠となる臨床研究や基礎研究を充実させることが役目であると思います。偉大な先人達の作り上げた本学会をさらに発展させるためには、しっかり将来を見すえ、かつ継続性のある活動を行っていきたいと考えております。そのためには、本学会の全会員で同じ方向を向いて、協力しながら、本学会を運営することが重要になると思いますので、今後とも会員の先生方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

第35回日本歯科審美学会学術大会のご案内

徳島大学大学院医歯薬学研究部再生歯科治療学分野 大会長 保坂啓一



2024年12月7(土)、8日(日)の2日間にわたり、第35回日本歯科審美学会学術大会を、徳島市のあわぎんホール(徳島県郷土文化会館)にて開催させていただくことになりました。四国での日本歯科審美学会学術大会の開催は、2014年に吉山昌宏大会長(岡山大学名誉教授)のもと香川県高松市で開催されて以来、徳島では初めての開催となります。この

ような本学会学術大会の運営を担当する機会をいただき、大変光栄に存じます。現在、多くの会員の皆様が有意義な時間をお過ごしただけのよう、鋭意学術大会準備を進めております。

今回の大会のテーマは、「歯科審美の守破離」といたしました。この「守破離」という言葉は、千利休が茶道において提唱したものとされており、ある技術や技法の習得過程を示す伝統的な日本の概念と言えます。初めに基本的な技術や知識を「守る」こと、次にそれを超越し独自の方法を模索する「破る」こと、そして最終的に真の独自性を追求する「離れる」こと、という三つの段階を表します。歯科審美学においても、これらの段階は治療技術や知識の習得、そしてその応用や革新に関連しています。本大会では、このテーマを通じて、ご参加の先生方とともに、歯科審



大会会場のあわぎんホール(徳島県郷土文化会館、JR徳島駅から徒歩8分)

美の進化と深化を共に考察し、新しい知見や技術の共有を目指して参りたいと考えております。

本学術大会では、特別講演、アドバンスセミナー、歯科衛生士および歯科技工セッションなど、歯科審美的守破離について十分に議論、共有できるような企画を準備中でございます。

本年5月に新型コロナウイルス感染症の2類から5類への移行に伴い、様々な行動規制が緩和され以前の活気が戻りつつあります。会場のあわぎんホール周辺には、阿波おどり会館があり、ここでは1年を通じて阿波踊りを観覧でき、徳島市のシンボルである眉山山頂へのロープウェイもでており、徳島市内にのみならず、紀伊水道、淡路島を一望することができます。また、少し足を延ばせば鳴門の渦潮、秘境祖谷にあるかずら橋、さらに大塚国際美術館など豊かな自然や文化に触れることができます。そして、鳴門鯛、阿波尾鶏、そば米汁をはじめとした海の幸や山の幸、徳島ラーメンといった美味しいものをぜひとも堪能いただきたいと考えております。

会員の皆様方、関係各位におかれましては、多数のご参加と引き続きましてのご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。学術大会の開催に関してのご意見などがございましたら、学会事務を通して、あるいは直接当方(大会長保坂啓一、準備委員長細川育子)までご連絡いただけましたら幸いに存じます。徳島大学大学院医歯薬学研究部再生歯科治療学分野教室員一同、徳島の地で、皆様をお迎えできますことを楽しみにしております。



「いつでも楽しめる阿波おどり」会場近くの阿波おどり会館。阿波踊り体験もできる。また、眉山山頂へのロープウェイもでている。

海外学会参加報告

第36回韓国歯科審美学会参加報告

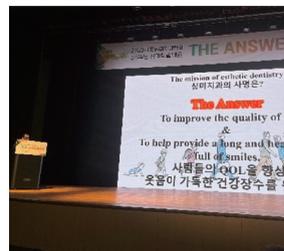
大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学・顎口腔機能学講座
若林一道

2023年11月12日、ソウルのCOEXにて、第36回韓国歯科審美学会 (Korean Academy of Esthetic Dentistry) 学術大会が開催されました。日本歯科審美学会 (JAED) は、韓国歯科審美学会 (KAED) および American Academy of Cosmetic Dentistry (AACD) と姉妹協定を締結しており、演者の交流を行っていますが、COVID-19の影響により、この数年は行うことができませんでした。COVID-19もようやく落ち着いたため、今年から演者の交流を再開することとなりました。

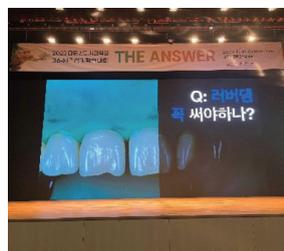
日本歯科審美学会からは例年、新理事長に講演をお願いしており、今回は山本一世理事長が講演をされました。本年度の韓国歯科審美学会学術大会のテーマは「THE ANSWER」と、日々の臨床における悩みに対し“Answer”するという内容でした。それに合わせて山本理事長も“The Answer”というテーマで、



第36回韓国歯科審美学会テーマ



山本理事長による講演



KAEDの先生による講演



懇親会において行われた調印式

JAEDの活動、臨床ケース、さらには少子高齢化によるこれからの歯科医療環境の問題点等について講演されました。鹿児島で開催された第34回日本歯科審美学会学術大会においても、9名のパネリストによる「審美歯科のQ&A『こんな時どうする?』」というスペシャルセッションが行われました。現在、臨床において、多様な治療方法や材料が選択できるようになった反面、どれが最良かといった悩みも多く、日本や韓国においてもその答えを求めているように感じました。

例年、KAED学術大会の終わりには、最後まで会場におられた方を対象に抽選会が行われるのですが、今年の1位の景品は口腔内スキャナーでした。鹿児島の学術大会には12名ものKAEDメンバーに参加いただき、KAEDのパワーを強く感じました。加えてですが、今回の演者交流に再開に際し、若干の姉妹協定の変更を行うこととなりましたので、学会終了後の懇親会において、山本理事長とWongun Chang会長による調印式が行われました。

山本理事長の講演の中で、今後、少子高齢化は日本よりも韓国において大きな問題となることが予想されるといった説明がありました。歯科医療の内容や環境において、日本と韓国で同じ悩みや問題を抱えていると思われます。両学会がより密に交流し、情報交換を行うことで、その問題に対する“Answer”を導き出していくことが大切であると感じました。



左より、中村隆志常任理事、山本一世理事長、Wongun Chang会長、筆者

海外学会参加報告

第17回アジア歯科審美学会参加報告

大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学・顎口腔機能学講座
若林一道

2023年11月17日～19日、スリランカ・コロンボの Cinnamon Grand Hotelにて、V.Vijayakumaran会長のもと、17th Asian Academy of Aesthetic Dentistry Biennial Congress 2023 が20th anniversary celebration of Sri Lankan Academy of Aesthetic & Cosmetic Dentistryとの共催で開催されました。本学会では“A comprehensive Approach for Smile Aesthetics”がテーマとなっていました。当初、本学会は偶数年に開催されていましたが、COVID-19の影響もあり、2020年10月に開催予定だったアジア歯科審美学会が2021年に延期されたため、2023年に開催となりました。アジア歯科審美学会は、日本、韓国、フィリピン、インド、シンガポール、マレーシア、インドネシア、バングラデシュ、ネパール、カンボジア、台湾、中国、スリランカの13カ国で構成され、その中でも日本歯科審美学会は最大の学会となっています。

学会の内容ですが、17日はコンポジットレジンを用いた審美修復のワークショップなど、18日はアジア各国の先生方14名による講演 (Asian Showcase)、および歴代会長6名による講演 (Past President's showcase)、19日は6名の演者による講演 (MiCD Showcase) が行われました。日本歯科審美学会からは、長崎大学の田上直美国際渉外委員長が“Strategies for achieving optimal longevity of esthetic restoration : Empowering success!”というタイトルで、審美歯科治療における接着の重要性について講演されました。その他演者につきましては、スマイルデザイン、矯正、ペリオ、デジタルデンティストリー、接着など、多様な内容で講演が行われました。Past President's showcaseでは韓国歯科審美学会のMyung Jim Kim先生やシンガポール審美歯科学会のPeter Tay先生らが講演



学会会場

されましたが、以前とかわらぬアクティビティーの高さを拝見しました。

懇親会においては、スリランカの民族舞踊や各種表彰式、V.Vijayakumaran会長から台湾歯科審美学会のEdward Hu会長への引き継ぎ式などが行われました。また本懇親会には水越英明スリランカ駐節日本国特命全権大使が出席され、ご挨拶され、日本とスリランカで強い友好関係が築かれていることを知ることができました。

その他の報告事項としましては、本学会において役員会が開催され、Edward Hu会長の新執行部メンバーとして、田上直美常任理事がTreasurer、私がAssistant secretaryとして選出されました。先にも記載いたしましたが、アジア歯科審美学会において日本歯科審美学会は最大の学会であり、今回の役員選出にも表わされているように、本学会における日本歯科審美学会のより一層の協力が求められているものと感じます。次回のアジア歯科審美学会は2024年11月30日～12月1日に台湾にて開催されますので、是非皆様もご参加いただき、アジアを感じていただけましたら幸いです。



田上直美国際渉外委員長の講演



懇親会におけるスリランカ民族舞踊



V.Vijayakumaran会長からEdward Hu新会長への引き継ぎ式

セミナー案内

2023年度の学術講演セミナー予定について

学術講演統括委員会 委員長 新海航一

学術講演委員会では、8月と10月にオンライン会議を開催し、本年度の学術講演セミナーは2回、ならびに第34回学術大会において学術講演委員会企画講演を実施することを基本方針として準備を進めていくことになりました。また、次年度1回目のセミナーについても、本年度中に企画することにいたしました。そこで、具体的には委員会メンバーを4グループに分け、各グループがコーディネーターとしてセミナーを企画し、全体会議で検討しながら準備を進めることにいたしましたので、その進行状況についてご報告いたします。

第1回目のセミナーは、令和6年2月25日(日)に対面式(Web配信なし)で日本歯科大学生命歯学部九段ホールにて開催する予定です。内容はCAD/CAM関連をテーマとして「CAD/CAM製作物の失敗しない装着(仮)」を考えております。開催時間は10:00~17:00、演者はグループワーキングの観点から歯科医師、歯科衛生士および歯科技工士から1名ずつ、材料学的観点から大学所属の歯科医師1名の合計4名を選定すべく現在交渉を行っておりますが、まだ確定には至っておりません。第2回目のセミナーのテーマは「ホワイトニングを極める(演者2名)」とし、大勢の歯科衛生士の会員参加を期待して、令和6年5月中にWeb開催で準備を進めていく予定です。

第34回学術大会(鹿児島)における学術講演委員会企画講演は、令和5年12月10日(日)13:20~14:50に開催することになりました。演題は「前歯部審美領域インプラント治療を成功させるために必要なDr. DT. DHのチームアプローチ」で、演者は脇 智典先生(医療法人社団麻布東京デンタルクリニック)、旗手勝浩先生(Ippin Dental Laboratory Inc)、長内香織先生(医療法人社団麻布東京デンタルクリニック)の3名、座長は、学術講演委員会メンバーの菅井敏郎先生(銀座UCデンタルインプラントセンター)と小原信二先生(グランツテクニカ)に決定いたしました。是非ご聴講いただきたく存じます。

会員の皆様にとって有益なセミナーを開催すべく、学術講演委員会委員一同努力して参りますので何卒よろしく願い申し上げます。

セミナー報告

第56回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験の開催報告

ホワイトニングコーディネーター委員会 委員長 金子 潤

第56回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験は、全プログラムを集合型対面形式で2023年7月30日(日)に明海大学浦安キャンパス(千葉県浦安市)にて開催されました。COVID-19感染拡大により、2020年1月の第50回講習会・認定試験(福岡会場)を最後に従来の形式での開催ができずにおりました。コロナ禍での運営方法として委員会で検討を重ねた結果、講習プログラムをオンデマンド配信とし、現地では簡単な直前講習と質疑応答、その後に認定試験を行うという形式を2022年1月の第52回講習会・認定試験から4回ほど行ってきましたが、やはり対面で実際に講師の生の声を聴いて学習したいとのご意見も多く寄せられ、やっと従来の開催形式に戻すことが叶いました。

当日は、本年6月に就任された山本一世新理事長のビデオメッセージの後、「歯のホワイトニング基礎編」を向井義晴先生(神奈川歯科大学)、「歯のホワイトニング実践編」を柵木寿男先生(日本歯科大学)、「ホワイトニングにおけるカウンセリングとケア」を坂本奈津季先生(昭和大学病院)、「こんなときどう答える?—患者さんの質問に対して—」を金子潤(明海大学)がそれぞれ担当しました。講習プログラム終了後の質疑応答でも、受講者の日ごろの臨床における悩みや疑問点などに対し



第56回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験
(2023年7月30日：浦安会場)

て、当日担当した講師陣が丁寧にアドバイスを送りました。個別の相談に関しては、試験終了後にロビーにて対応することができました。本認定試験では受験者238名が全員合格し、登録手続きを完了したところです。

ホワイトニングコーディネーター委員会は、6月に大森かをる前委員長から金子が委員長職を引き継ぎ、新しいメンバーも3名加わりました。各委員の講習内容の役割分担を決定し、年4回開催予定の講習会に向けて準備を進めています。また、認定試験問題検討チーム3名(柵木副委員長、向井委員、坂本委員)による試験問題の大幅リニューアルも行っているところです。さらに、「ホワイトニングコーディネーター」の名称を商標登録すべく、弁理士に依頼して申請が完了いたしました。日本歯科審美学会による名称の「独占・排除」はもちろんですが、今後ホワイトニングコーディネーターの資格が「ブランド化」して価値がさらに高まることが期待されます。受験者の合否認定を担当する当委員会としても身の引き締まる思いです。

今後の講習会・認定試験は、第57回(福岡会場)が11月3日(金・祝)、第58回(神戸会場)が2024年1月21日(日)、第59回(東京会場)が3月17日(日)に予定されています。いずれもすでに満席となっており、2024年度に向けて開催日程および開催場所の検討を行っているところです。今後も会員の先生方のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



越智資格承認統括委員長(後列右から2人目)とホワイトニングコーディネーター委員会メンバー

委員会報告

編集委員会

会員の皆様におかれましては、平素から「歯科審美」の発行にご協力頂き、感謝申し上げます。学会は、学術大会における議論の場とともに、学術雑誌を発行することによって会員の学術的な問いかけをする場となるように努め、それが歯科医学の発展につながることを推進していくことが務めであると考えております。学術大会とともに雑誌発行は重要なものであるところから、編集委員会としては、原著論文の投稿数を増加させることに主眼を置きたいと考えております。さらに、質の高い症例報告の掲載も重要となるところから、会員からの投稿を歓迎するところです。

もちろん、学術雑誌の有している使命を果たすためにも、原著論文の投稿を広く呼び掛けたいと考えております。そのためにも、若手研究者による学術大会における発表内容を、コンサイスにまとめていただき、これを積極的に原著論文として投稿いただくことをお願いしたいと思います。今後、本学術雑誌のクオリティを向上させるために、投稿時の指針を見直したいと考えております。少々時間がかかるかもしれませんが、理事会等でお認めいただければ、早急に作業に取り掛かる予定であります。少しでも、会員の皆さんの益するものとなるように、編集委員会ではよりよい学術雑誌の編集に努めてまいりますことといたしたいと考えております。

(委員長 宮崎真至)

国内渉外委員会

例年と同様に日本歯科審美学会の社会連携事業の1つとして歯科審美学に関する出張講義を行っています。10月18日現在で43の養成校(歯科衛生士40校、歯科技工士3校)から講義の希望がありました。昨年と同じ講師の派遣を希望される養成校が多いようです。オンラインでの講義希望も3校ありました。

講義は2024年2月までの期間に実施されます。講師の承諾をいただいた代議員の皆様には厚く御礼申し上げます。

(委員長 中村隆志)

資格承認統括委員会

6月30日(金)に2023年度第1回認定医審議会・認定医制度運営委員会、認定士審議会・認定士制度運営委員会の合同開催をAP丸の内Aルームにてハイブリッド形式で実施した。第54期認定医・第24期認定士書類審査について、認定医(5名)、認定士(5名)の計10名を合格とした。更新認定医・認定士書類審査について、認定医(8名)、認定士(3名)の提出書類に不備はなく、更新が承認された。さらに、更新手続期間延長申請書につい

て、3名の該当者（認定医、認定士）に2年間の延長申請が承認された。

8月31日（木）に第2回認定医審議会・認定医制度運営委員会、認定士審議会・認定士制度運営委員会の合同開催をAP東京八重洲11階で実施した。第54期認定医・第24期認定士について（症例提示および口頭試問試験）認定医（3名）、認定士（4名）の計7名を合格とし、認定医（2名）、認定士（1名）の計3名を保留とした。更新認定医・認定士書類審査について、認定医（4名）、認定士（2名）の提出書類に不備はなく、更新が承認された。第55期認定医申請スケジュールについて。受付期間：2023年10月1日～10月31日、書類審査結果通知は11月末に行い、症例提示および口頭試問が2024年2月1日（木）である旨、合格者に連絡しました。今回の申請に間に合わなかった皆様は是非、次回の申請をご検討ください。（委員長 越智守生）

規則検討委員会

本学会が2015（平成27）年4月1日付で一般社団法人化して早くも8年余りが経ちました。この間、任意団体時の規則・細則、内規や申合せ等を定款に整合するよう更訂し、それらを実際に運用しながら、業務執行をはじめとする学会運営が円滑に進むよう問題点を都度鋭意修正して参りました。当初は、「改定」、「改正」ならびに「改訂」の作業に追われておりましたが、現在では落ち着いて会務の運営等は支障なく行われております。今後も規定文の更なる完成と円滑な運用を図るべく活動して参ります。

法人化された本会の事業の運営・活動は社員総会によりますが、その基盤は会員一人ひとりの意志によってなされています。そのため、何かお気付きの点がありましたらどんな些細なことでも結構ですので、皆様からの忌憚のないご意見を是非ともご教示頂ければ幸いです。

なお、当委員会のメンバーは、委員長：富士谷盛興、副委員長：向井義晴、委員：岸本崇史、齋藤誠、堀江卓（幹事兼任）、峯篤史、脇智典（敬称略、五十音順）です。

どうぞよろしく願い申し上げます。

（委員長 富士谷盛興）

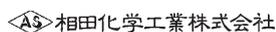
広報委員会

広報委員会の主な取り組みとして、ホームページのアップデート、ニュースレターの配信を行っており、会員の方々、学会にご賛助いただいている企業、そして国民の皆様へ、有益な情報をお送りできるように活動をしています。

今回関係者の皆様のおかげをもちまして、ニュースレター Vol48冬号発行することができました。ニュースレターには、今後のセミナーや学会のスケジュールなど、日本歯科審美学会の活動等が掲載されておりますので、ホームページも合わせ、是非、ご覧いただきますようお願いいたします。

(委員長 若林一道)

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<https://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
https://www.ivoclar.com/ja_jp



ULTRADENT JAPAN株式会社
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-34-14
初台TNビル3F
Tel: 03-5365-1760
<https://www.ultradent.jp/>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<https://www.quint-j.co.jp>



グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR
Tel: 03-4511-8732
<https://www.haleonhealthpartner.com/ja-jp/oral-health/>

Kuraray Noritake Dental Inc.

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4
常盤橋タワー
Tel (フリーダイヤル) : 0120-330922
<https://www.kuraraynoritake.jp>



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (カスタマーサービスセンター・お客様窓口) :
0120-416480
<https://www.gc.dental/japan/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエム ジャパン株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (コールセンター) : 0120-332329
<http://www.3mcompany.jp/dental/>



デンツプライシロナ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5階
Tel (フリーダイヤル) : 0120-789123
<https://www.dentsplysirona.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel (フリーダイヤル) : 0120-54-1182
<https://www.tokuyama-dental.co.jp>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17-5F・6F
Tel: 03-5746-0316
<https://www.j-pentron.com/>



ホワイトエッセンス株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-12-18
渋谷南東急ビル11F
Tel: 03-6434-1330
<https://www.whiteessence.co.jp/>



株式会社メディカルネット
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル 3階
Tel: 03-5790-5263
<https://www.dentwave.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
E-mail: info@mokuda.co.jp
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-5808-9350
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel (コンタクトセンター) : 0120-178-148
<http://www.yoshida-dental.co.jp>



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人 山本 一世

編集 一般社団法人日本歯科審美学会
広報委員会

制作 三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/